
紅い天使

夜空 麗人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅い天使

【Nコード】

N7448H

【作者名】

夜空 麗人

【あらすじ】

ごく普通の高校生吉良。吉良の前に現れた天使。今全てが終り全てが始まってゆくのだった。

く紅に染まった手く（前書き）

人の死がたくさんでできます。苦手なかたは見ないでください。

く紅に染まった手く

もしも願いが叶うなら・・

アナタはどうする？

『姉さん嘘だ。姉さん！』

あの日僕は

何かを初めて知った。

「おはよう、和彦」

僕が軽く手をふると和彦も手をふる。

「おっはよお！吉良」

僕は一息ついて

「和彦髪染めんのやめとけよー」

としらけた顔で言った。

和彦はほおをプクツと膨らませて

「イーじゃん。別にいい」

と、チャラい言葉をかけてくる。

いつもある普通の会話。

心が休まる楽しい一時。そして、いつもそれを壊す糞教師。

「やあ生徒諸君」

辺りが一斉に静まりヒソヒソ声が広まっていく。

「今日は諸君の新たな仲間　を紹介しよう」
偉そうな態度でいつもの様に話す。

そして新しい仲間とやらが教室に入って来る。
その“仲間”とは、いかにもうざそうな女だった。

「桜庭真弥でえす！皆さん　よろしくお願いしまあす」

真弥は目がぱちり二重でまつげが凄く長い。僕のタイプではない
が世間的には可愛いし真弥がタイプの男は多いだろう。

そして真弥が自己紹介をおえたその時……！

「いたっ！」

軽い頭痛がした。でも、それはどんどん痛くなった。

「うわあああ！割れるう！頭がア頭がア！！」

鋭い痛みに頭が割れそうになる。とっさに僕の異変に気付いた和彦が

「先生！俺、吉良を保健室に連れてきます！」

ガタツと和彦は席を立ち僕を保健室まで連れていってくれた。

紅い眼をした少女はそつと吉良の顔に触れる。

「吉良、私の新たな主人となる男か。この男にティアネスの素質
はあるのか？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7448h/>

紅い天使

2010年10月12日17時01分発行